

よ  
か  
と  
こ  
い  
巡  
り



錦江町の知ってるようで知らないスポットを紹介します。  
今回は、河上神社編です。

河上神社は城元地区にあり、80.5アールと壮大な境内を有しています。  
祭神は、うがやふきあえずのみこと鵜草葺不合尊・しんぶてんのう神武天皇・いつせのみこと五瀬命・いないいのみこと稲飯命・みけいりのみこと三毛入野命です。

創建の由来等は、明治12年の火災のため宝物由緒書等も焼失しており今では詳細を知ることは出来ません。

● 柱松（はしたまつ）

河上神社には県下では類を見ない、全国的にも珍しい火祭りがあります。

昭和34年を最後に途絶えており、その後3回ほど復活しています。

柱松は、先端部にわらを巻いた10mを超す松を立て、火の点いたホテ（麦わらの小束）を投げ点火する一隊と長い竹竿で消火する一隊とが激しくぶつかり合う勇壮な祭りです。

由来については、詳細はわかっていませんが、柱松に点火し降神を願い五穀豊穡を願う神事という説と、昔、大蛇の被害に恐れていた村人たちが火で大蛇を打ち払ったと言われており、松を大蛇に見立てて大蛇への不安を払おうとする行事という説があります。



● 納涼大会

毎年8月には神社の境内で城元青年団による納涼大会が開催されます。  
来年は是非足を運んでみて下さい。

● 神舞い

河上神社には旗山神社（池田校区）と同じく鳥居建てや例祭などで神舞いが踊られていましたが、現在は、戦後諏訪神社の鳥居建ての時舞ったほか、数回しか行われていません。  
舞いの種類は田ノ神舞やなぎなた舞など48種あったと伝えられています。



● 狛犬（こまいぬ）

本殿を守るように鎮座している狛犬。正確には「獅子・狛犬」だそうです。

